

「入間市の学校教育」刊行に寄せて

入間市教育委員会
教育長 中田 一平

「入間市の学校教育」の刊行にあたりご挨拶を申し上げます。

令和6年度、入間市教育委員会は「豊かな人間性の育成」を基本理念に、豊かな人生とよりよい社会の実現に向け、「主体的に考え、行動できる人材」を育むために、子ども達の考えを中心に学校と地域が協働して質の高い教育を実践してまいりました。また、教育行政テーマに「学びと実践があふれるまち」を掲げ、子どもの主体的学びがあふれる学校を目指し、各種事業を通して学校教育を推進してまいりました。

各学校においては、教職員の尽力により、「心理的安全性」の確保された学級を基盤に仲間の力を借りて自らの学びを深める「発達段階に応じた学び合い学習」並びに「家庭学習の充実」を研究・実践していただきました。結果として、「探究と協働」を視点に授業改善が推進され、認知能力の習得に加え、子ども達がこれからの社会を生き抜くために必要な非認知能力を育むことができました。

さらに、令和5・6年度の市教育委員会、市教育研究会の研究委嘱校として、金子小学校、東金子小学校、狭山小学校、扇小学校、黒須中学校の5つの学校に、児童生徒のさらなる成長につながる研究主題のもと、2年間積み重ねられた研究・実践についての発表を行っていただきました。当日は、多数の参会者を得て、実り多き研究発表会とすることができました。関係校の皆様に、心より感謝申し上げます。

このたび刊行されました「入間市の学校教育」には、前述した市内5校の委嘱研究の成果や、各小・中学校の校内研修の内容、教育委員会が所管する各種委員会の研究実績等が幅広く収録されております。各学校におかれましては、研究校の成果を積極的にご活用いただき、学習指導及び教育課程の改善・充実に役立てていただければ幸いです。

結びに、校長先生並びに諸先生方の研究・実践に敬意を表すとともに、これからも未来を担う子どもたちのために、『子どもたちの豊かな未来をつくり、今を幸せにする入間市の教育』が広く展開されることを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

令和7年3月